京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

1. 京都市の特徴
2. 京都市における帰宅困難者対策
3. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会
4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

1. 京都市の特徴

2. 京都市における帰宅困難者対策

3. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

1. 京都市の特徴

★京都市外居住者の交通流動実態（平成29年度交通流動実態調査より）

【通勤】

資料：KDDI×コプラ LocationTrends

【通学】

資料：KDDI×コプラ LocationTrends

【観光等その他】

資料：KDDI×コプラ LocationTrends

京都駅周辺区（下京区・南区）の平日の一番外部来訪者の多い時間帯で「約2.8万人」の帰宅困難者が発生すると推計

さらに周辺観光地等から京都駅を目指して集まってくる帰宅困難者もいると想定される。

（市全体の外部来訪者は、約13万人）

※数値は、H26PT調査を基に算定

京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

1. 京都市の特徴

2. 京都市における帰宅困難者対策

3. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

2. 京都市における帰宅困難者対策

平成24年から取組開始

2. 京都市における帰宅困難者対策

★帰宅困難者対策のスキーム

発災 Step 1

- 身の安全確保
- 緊急速報メールで一斉帰宅抑制

Step 2

- 緊急避難広場をお知らせ

3~6時間 Step 3

- 緊急避難広場での支援(物資提供等)
- 徒歩等により自力で帰宅
- 京都市からの情報をお知らせ
- 一時滞在施設をお知らせ

12時間 Step 4

- 一時滞在施設での支援(物資提供等)

Step 5 3日~

- 帰宅支援

観光場所等

緊急避難広場

一時滞在施設

帰宅

京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

1. 京都市の特徴

2. 京都市における帰宅困難者対策

3. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

3. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

①大阪府北部地震（H30.6）後の取組

★要配慮者向け一時待機スペースの設置

大阪府北部地震の際、京都市域に直接の被害がなく、緊急避難広場の開設までに至らない状態であったが、鉄道の運行再開まで長時間を要したため、移動や情報収集が困難な高齢者や障害のある方には、一定の配慮が必要になると考え、京都駅近くの「キャンパスプラザ京都」に、一時的に休憩でき、鉄道の運行情報を得られる「要配慮者向け一時待機スペース」を設置した。

★外国人向け情報伝達フォーマット

長時間鉄道が不通となり、京都を訪れていた外国人観光客への運行状況等の情報提供が課題となった。そのため、発災時に避難誘導や情報提供に使える多言語化した「帰宅支援に関する文例」「指示ボード」などを定例化した外国人向け情報伝達フォーマットを作成した。

The sign is a vertical green banner with a white icon of a person running. It contains text in three languages: Japanese, English, and Korean. The Japanese text reads '긴급 피난 광장' (Emergency Evacuation Site) and '緊急避難広場' (Emergency Evacuation Site). The English text reads 'Emergency evacuation site' and 'Kyoto city'. The Korean text reads '긴급 피난 광장' (Emergency Evacuation Site) and '긴급 피난 광장에는 녹색 깃발이 있습니다.' (There are green flags at the emergency evacuation site).

Please go to an Emergency Evacuation Site.
It is marked with green flags.

請去“应急避难场所”<发生地震或事故时的去处>
应急避难场所有绿色旗子做标记。

請前往「緊急避難廣場」<發生地震或事故時前往避難的地方>
緊急避難廣場有綠色旗標。

'긴급 피난 광장'(지진이나 사고가 났을 때 가는 곳)으로 이동해 주십시오.
긴급 피난 광장에는 녹색 깃발이 있습니다.

「緊急避難広場」へ向かってください。緑色の旗が目印です。

京都市

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

②帰宅困難者対策訓練（令和2年度）

<訓練概要>

★コロナ禍での開催となったため下記の流れを訓練コントローラーが解説しながら、Zoomにて中継LINE WORKSのやり取りも画面共有することで、訓練参加者全員が時系列でどんなやり取りが行われているかを共有し、実際の発災時のイメージを共有

- ・京都駅前に立地する「京都タワーホテル」内での事業所訓練を実施
- ・並行して、LINE WORKSを活用し、情報伝達訓練を実施
（交通事業者との運行情報確認、緊急避難広場・一時滞在施設事業者への開設依頼）
- ・京都タワーホテル訓練の進行に合わせて、緊急避難広場である東本願寺にて、緊急避難広場開設の準備→開設を行う。
- ・京都タワーホテルから東本願寺へ帰宅困難者を誘導
- ・東本願寺にて帰宅困難者を受け入れ、ゾーニングを実施
- ・交通事業者からの当日運休の連絡（LINE WORKS）を受け、一時滞在施設を開設
- ・一時滞在施設でもある東本願寺において、緊急避難広場から一時滞在施設へ誘導

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

②帰宅困難者対策訓練（令和2年度）

<訓練概要（イメージ）>

現地訓練会場

訓練コントローラー

各訓練参加者（各事業所Web接続）

Web会議室ホストを訓練コントローラーが務め
現地訓練・遠隔地訓練の訓練シナリオを同時進行

各事業所では訓練進行に沿い、身の安全確保、
従業員等の安否確認
建物安全点検を実地で簡易チェック
（※実施メニューは各事業所毎に任意で御設定）

現地訓練の様子をWebカメラ等で
Web会議室へリアルタイム配信

京都市と協定締結先（緊急避難広場、一時滞在施設等）
とのLINEを活用した情報伝達訓練の様子は適宜、
Web会議システムを通じて画面共有を実施

LINEを活用した情報伝達訓練
（現地と各事業所間の情報共有）

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

②帰宅困難者対策訓練（令和2年度）

＜訓練の様子＞

鉄道運行情報の掲示

発熱者の隔離

緊急避難広場へ誘導

緊急避難広場の受付

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

② 帰宅困難者対策訓練（令和2年度）

< 訓練の様子 >

LINE WORKSのやり取り

LINE WORKS トーク

京都駅周辺帰宅困難者対策訓練
メンバー 36

運行停止状態であり、当面復旧の見通し不明。京都駅に多くの滞留者が発生。 既読 33 > 09:35

京都市交通局
全線運行停止中です。京都駅に多くの滞り客あり。 既読 33 > 09:37

JR西日本
京都駅北口広場、受け入れ可能人数3000人です。 既読 33 > 09:37

京都水族館
京都水族館、いまのところ受入可能人数は約500名です。 既読 33 > 09:37

東寺
南区の東寺です。緊急避難広場を開設しました。受け入れ可能人数は500人です。 既読 33 > 09:37

東本願寺
東本願寺緊急避難広場開設決定いたしました。受け入れ可能人数は200名です。 既読 33 > 09:39

京都市まち再生 神尾
【報告受付終了】緊急避難広場へ訓練の進行上、ここで受入可能人数の報告受付を完了します。 既読 33 > 09:39

京都市まち再生 神尾
緊急避難広場へ
受入人数について了解しました。準備が整い次第、緊急避難広場を開設し、開設完了を報告してください。 既読 33 > 09:39

メッセージを入力してください。

LINE WORKS トーク

京都駅周辺帰宅困難者対策訓練
メンバー 36

運行停止状態であり、当面復旧の見通し不明。 既読 33 > 09:51

東本願寺
ただいま東本願寺において緊急避難広場の開設準備がととのいました。 既読 33 > 09:51

東本願寺
既読 33 > 09:52

東本願寺
既読 33 > 09:52

東本願寺
メッセージを入力してください。

LINE WORKS トーク

京都駅周辺帰宅困難者対策訓練
メンバー 36

現在の受入人数と、そのうち一時滞在施設への誘導希望者数を報告してください。 既読 33 > 10:09

京都水族館
京都水族館、今のところ受入人数は概ね500人です。そのうち、一時滞在施設への誘導希望者数は概ね250人です。 既読 33 > 10:09

東本願寺
ただいま東本願寺において一時滞在施設の開設準備が整いました。受け入れ可能人数は80名です。現在非難している16名は帰宅困難者となる模様です。 既読 33 > 10:10

京都テルサ
京都テルサです。一時滞在施設開設いたしました。受け入れ可能人数は3000人です。 既読 33 > 10:11

京都市まち再生 神尾
東本願寺様へ
一時滞在施設での受入人数について報告します。同朋会館へ16名受入可能ですので、準備が整い次第、避難誘導を開始してください。
避難誘導開始時には、一時滞在施設へ個別連絡をお願いします。 既読 33 > 10:12

アバンティビル
アバンティビルです。受入可能人数は300名です。 既読 33 > 10:12

京都市まち再生 神尾
メッセージを入力してください。

LINE WORKS トーク

京都駅周辺帰宅困難者対策訓練
メンバー 36

頼のみとさせていただきます。 既読 33 > 10:20

都ホテル京都八条
一時滞在施設開設完了。受入可能人数は約1000名です。 既読 33 > 10:22

京都市まち再生 神尾
東本願寺様へ
受け入れが終わりましたら報告ください。 既読 33 > 10:29

東本願寺
ただいま東本願寺においては帰宅困難者の一時滞在施設への誘導を完了しましたことをご報告いたします。 既読 33 > 10:29

京都市交通局
お疲れさまでした。ありがとうございました。 既読 29 > 11:28

京都市まち再生 神尾
京都市の神尾です。本日は、情報伝達訓練にご参加いただき、ありがとうございました。
進行スピードや現地会場とのタイムラグなど、至らない点も多くあったかと思いますが、皆様の御協力により訓練を終えることが出来ました。
実際の防災時は、今回の訓練以上に、市からの情報発信や皆様からの御報告に時間がかかると思いますが、この訓練で全体の流れを再確認いただくと共に、課題の抽出を行えれば幸いです。
また後日、市から皆様にアンケートをメールで送付しますので、ご回答いただきますようお願い申し上げます。 既読 19 > 14:11

メッセージを入力してください。

4. 京都駅周辺地域都市再生安全確保計画部会の取組

③ 京都駅周辺都市再生安全確保計画部会におけるPDCAサイクル